

# 通学日より 未来へむかって

発行日 平成27年10月21日  
発行号 H27 10月号  
発行者 新潟県立小出特別支援学校  
川西分校 進路指導部

## 秋ですね。

朝晩冷え込むようになり、地域では稲刈りも終わりの時期です。それとともにふれあいジョブが終了の時期となりました。今週で終了となります。

生徒はそれぞれ一生懸命に取り組んでいました。3～4回の実習ですが生徒の変化が見られた実習期間でした。



- ・始めは見守られながらであったが、徐々に「一人でも大丈夫」と自信をもった生徒。
- ・不安だった通勤、退勤が、一人でもできた生徒。
- ・挨拶、返事の声が小さく、見ている側も心配な様子だったが、次第に大きな声になり、身だしなみもすっかりした生徒。
- ・実習を重ねる度に、仕上げる量が増えた生徒。
- ・イレギュラーな仕事が多く、どうしたら良いか迷ってしまう様子から、「聞けばできる」と分かり、積極的に質問をするように変化した生徒。
- ・やりたい職種が実現し、一生懸命に取り組んだけれども、現実の大変さに「思っていたのと違う」ということに気付いた生徒。
- ・事業所の様子が予想と異なり、「自分に合っているかも」と考えた生徒。
- ・実習を休んでしまい、体調管理や調整力の大切さを指摘された生徒。
- ・事業所での仕事を学校で事前に練習し、「やっておいて良かった」と事前学習の大切さを確認した生徒。

どれも、経験しないと実感できないことです。経験するからこそ本人がしっかりと理解していきます。これから、さらに理解が進むように、経験と繋がる言葉掛け・意識付けをしていく必要があります。そのためには、保護者の皆様方も子どもたちが経験したことを理解しておくことが大切です。実習の様子を確認してください。



これから現場実習の内容について個々に連絡させていただきます。次の実習に向けて、ふれあいジョブから見てきた課題を解決したり、新たな実習へ向けての準備をしたりしていただければと思います。

そして、ぜひ現場実習期間のうちに一度は現場に訪問させていただき、現場の方へお世話になっているお礼を伝えながら、お子さんが働く様子を直に見て、働く現場での実態を把握していただければと思います。



## 自分(子ども)に合った事業所ってどこだろう？

毎年、相談として受ける内容です。実習や進路を考える上で、「私はどんな事業所で実習をやったら良いのだろう」、「この子には何が合っているのだろう」等々悩みますね。特に職業適性では皆さんお悩みようです。3年生に近づけば「進路として、どう選択したら良いのだろう」と悩みも深くなります。お子さんの実態や支援内容、通勤なども含めると「よく分からない・・・」なんて声が聞こえます。仕事の適性を知るのには本当に難しいことだと思います。ですが、将来の生活に関わる内容なので考えなければいけない内容です。



進路は職業適性だけで、決められるものではありません。「こんなことを考えると進路を見据えやすいのでは・・・」という内容をお伝えできればと思います。

### ①生活の場(根拠地)を考える。

○自宅で家族と生活するのか、グループホームや宿泊型自立訓練を利用するのか、生活の場を考える。

- ・妻有地域での生活では通勤事情などを考慮して、生活の場を考える必要があります。
- ・家族の生活も含めて、卒業後すぐの生活を考えるといいです。



### ②進みたい業種(の概要)を考える

○働く事業所が良いのか、介護支援を含めた事業所がよいのか。また、人に対する業務、物に対する業務のどちらが多い方が良いか。本人の「やりたい!」という意欲と「できる」内容から考える。



- ・働きたいか、支援を含む活動がよいのか、本人の意欲が大切です。また本人が「こんな仕事をやりたい」と実感するためにも職場実習で多様な事業所を経験することが大切です。
- ・近年福祉事業所も製造業と思える仕事をしています。企業就労に偏らず、本人に合った業務内容、支援内容を考える必要があります。
- ・職場実習中に直に現場の様子を把握したり、進路教室で話を聞いてみたりしてください。現場の実態を知ってください。(理想や想像と現実とは異なることがあります)

### ③本人の得意なこと、不得意なこと、がんばればできることを把握する。

○本人の障がい特性と共に、普段の生活の実態をしっかりと把握する。

- ・例えば「バスに乗れます」ということも、よくよく聞くと「練習をすれば、その路線は乗れる」、「支援者が、一緒にいれば乗れる」などということがあります。同様に「話をするために考えをまとめるのに時間が掛かるが、会話は問題ない」、「そばに誰かいれば、一人で作業ができる」などありました。できる条件などは“=支援が必要”ということが多いです。本人のことを正確に把握しておくとう良いです。

#### ④ マッチングを考える。

○進路先の業務との間で大切なのは、マッチング。“出会い”という意味もありますが、“相性”の意味の方が大切。

- ・不得意なことを要求される仕事であれば、長続きはしません。得意なことと、求められることの“相性”が合うことが大切です。
- ・福祉事業所でも同様です。場の雰囲気、利用者との関わり、活動内容等々と、本人との“相性”が大切です。



他にもそれぞれの生徒に合わせて、考えていく視点はありますが、先ず前述のことからスタートしてはいかがでしょうか。しかし、それらから進路を見定めていくためには、しっかりと「知る」、「考える」ということが必要です。「知る」、「考える」の参考にいただければと思います。



### 十日町掃除に学ぶ会「県立小出特別支援学校川西分校大会」

が 開催 されました。



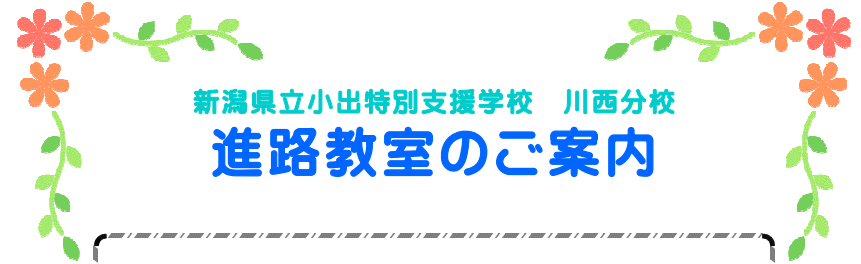
9月26日(土)、当校を会場に、行われました。参加した皆様ありがとうございました。会の様子をお知らせします。当校のホームページからの抜粋です。ホームページもご覧下さい。



会の始めに、今回の代表世話人である村山廣祐様(株式会社村山土建社長)から、ご挨拶いただきました。『「掃除を学ぶ会」ではなく、「掃除に学ぶ会」です。トイレ清掃を通して「心を磨く」、「謙虚な人になれる」、「気付く人になれる」、「感動心を育む」、「感謝の心が芽生える」ことにつなげていただきたい、今回の活動がそのようなところに繋がるようになってもらえればと思う。』とご挨拶いただきました。

一人に1箇所の割り当てで、便器や洗面台の清掃をしました。今回ゴム手袋は使わず、素手で行いました。開会式前に専用の薬剤(プロテクトX1)で手をコーティングし準備しました。道具を使うとはいえ、さすがに抵抗が…。しかしやってみると、汚れが固まっていて、ザラザラした感覚が分かりました。

汚れに対して、正面から向かい合い、こすっていくと次第にザラザラ感が無くなっていくのが分かり、「おお～落ちてるよ～」と、うれしそうな生徒の声が聞こえてきました。やった分だけの成果を感じたのか、皆さん汚れ落としに没頭。2時間の清掃時間があっという間でした。



## 新潟県立小出特別支援学校 川西分校 進路教室のご案内

### 10月の進路教室

期 日	話題として予定する内容	対象等
10月22日 (木)	・進路先への手続について ・卒業までに身に付けること	3年生

<時間・場所> 13:30～ 川西分校第2作業室

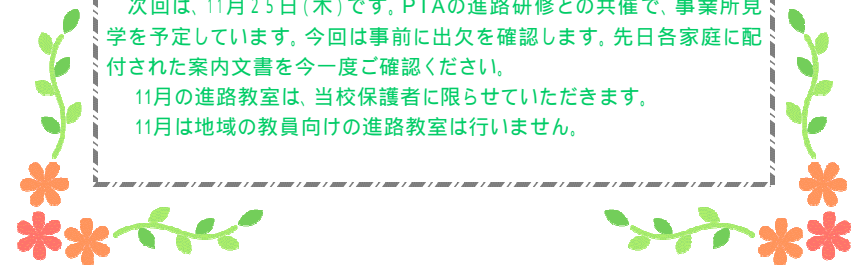
今回は進路先への手続や卒業までの取組について話題にしていきたいと思っています。進路決定はいつ頃か、その後の手続はどのようなものがあるのか、何をしていったらよいのか、事例を出しながらお話できればと思います。また、卒業までに残された期間で何に取り組んだらよいかも合わせてする予定です。ご多用かと思いますが、多くの皆様からの参加をお待ちしています。



### 次回(11月)の進路教室の予定

次回は、11月25日(木)です。PTAの進路研修との共催で、事業所見学を予定しています。今回は事前に出欠を確認します。先日各家庭に配付された案内文書を今一度ご確認ください。

11月の進路教室は、当校保護者に限らせていただきます。  
11月は地域の教員向けの進路教室は行いません。



不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校  
TEL 025-768-3325  
FAX 025-768-3371  
担当:進路指導部 細井哲明 佐藤正高

